



ようついついかんぱん

新しい治療法



整形外科・科長

安田 達也

腰椎椎間板ヘルニアとは、椎間板の一部が飛び出して椎間板後方にある神経にダメージを与える状態を言います。このダメージにより、お尻や足にいく神経が炎症を起こし強い痛みやしびれを生じます。

多くの場合、椎間板ヘルニアによる神経の炎症は徐々に治まり、飛び出した椎間板は数カ月で徐々に吸収されていきます。したがって、それまでの期間を鎮痛剤やブロック注射などで痛みをコントロールすることが一般的な治療です。しかしながら、痛みが強くコントロールが難しい場合や神経ダメージが強く足の筋力が低下してしまう場合、飛び出した椎間板がなかなか吸収消失しない場合には、全身麻酔での手術が適応となります。

一方、最近になり椎間板酵素注入療法という新たな治療法が当院でも

新しい治療法

可能となりました。この治療法では、コンドリアーゼという椎間板を溶かす酵素を注射するため、皮膚の切開は不要です。注射された酵素によって、突出した椎間板が溶解して神経の圧迫を取り除く事が期待できます。手術と違って、日帰りでの治療が可能です。効果発現までに数週間かかりますが、今まで手術が必要であったような場合でも、約7割はこの治療法で手術を回避できたとされています。

当院では、腰椎椎間板ヘルニアに

- ① 保存治療（ブロック注射など）
 - ② 椎間板酵素注入療法（日帰り可能）
 - ③ 手術療法（全身麻酔1時間弱）
- という治療法から、患者さんと相談し最適な治療を提供しています。

腰のヘルニアでお困りの方は一度相談にいらしてください。

4月2日は国連が定めた

「世界自閉症啓発デー」

（国）こども未来課

☎ 0538-3712012
FAX 0538-3714631



自閉症を知っていますか

発達障害の代表的なものに「自閉症」があります。自閉症は、「常に自分の殻に閉じこもっている状態」と考えられたり、「親の育て方が原因」と思われたりすることがありますが、これは正しくありません。

自閉症の方は、脳の発達の仕方の違いから「他の人の気持ちや感情を理解すること」「言葉を適切に使うこと」「新しいことを学習すること」など、物事を予測したり、想像したり、抽象的なことを理解することが苦手です。このため、対人関係などにおいて誤解されることがあります。

自閉症の方には、次のように接し方を変えることで伝わりやすくなります。

- ◆ その人が理解している言葉を選んで使う
- ◆ 写真や絵などを添えて説明する
- ◆ 抽象的な表現を避けて、どうすれば良いのか具体的に教える

「世界自閉症啓発デー」とは

国連では、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」と定めています。日本においても4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」とし、シンプוזウムを開催や建物のブルーライトアップなどを行い、自閉症をはじめとする発達障害について広く啓発活動に取り組んでいます。

青（ブルー）で伝える

青色は、癒しや希望などを表す色です。世界自閉症啓発デー日本実行委員会は、青色を自閉症や発達障害を理解していただくためのシンボルカラーとして使用しています。

発達障害を知り、理解しましょう

自閉症をはじめとする発達障害について知り、理解することは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことのできる社会の実現につながっていきます。皆さんのご理解とご支援をお願いします。